

令和3年度 学校評価 教員自己評価アンケート集計結果

評価平均 2.8以下 (概ね1/4が「2以下」と評価した項目)

※ 重点項目として学部等で検討

I 児童生徒や教員自身に関する評価項目 (保護者と共通項目)

※ パーセントについては、小数点以下第1位を四捨五入しており、合計が100%になっていない項目があります。

No.	評価項目	4		3		2		1		評価平均	改善策等 (自己評価後、学部等で検討)
		大変良い		良い		不十分		かなり不十分			
1	児童生徒は、自分から学習や活動に取り組むように育っていますか。	4	13%	23	77%	3	10%	0	0%	3.0	<p>「2 児童生徒は、人とかかわりを受け入れたり、人とかかわろうとしたりしますか。」について 保護者評価 (昨年度比) 小:3.4 (-0.4) 中:3.3 (-0.1) 高:3.3 (+0.3)</p> <p>・全学部による縦割り活動や異学年の学習グループ編成を効果的に取り入れながら、人とかかわりがより身に付くようにしていく。</p> <p>「3 児童生徒は、自分から仕事やお手伝いをするように育っていますか。」について 保護者評価 (昨年度比) 小:3.1 (0) 中:2.8 (-0.1) 高:3.1 (+0.7)</p> <p>・清掃時の道具を家庭用に合わせる等、家庭生活において汎化につながるように、係活動など日常生活の指導等の学習内容を工夫する。 ・教育懇談や連絡帳等の日々のやり取りにおいて、家庭での取組について共有できるように丁寧に情報交換を行う。</p> <p>「4 教員は、児童生徒への言葉掛け、接し方が適切ですか。」について 保護者評価 (昨年度比) 小:3.7 (-0.1) 中:3.3 (-0.1) 高:3.4 (0)</p> <p>・児童生徒の言葉を真摯に受け止めるようにする。 ・生活年齢に即した対応を行う。 ・学級外の教員も活用しながら、柔軟に対応していく。</p> <p>「8 教員は、学習状況についての情報提供を十分に行いましたか。」について 保護者評価 (昨年度比) 小:3.7 (0) 中:3.4 (-0.1) 高:3.5 (0)</p> <p>・保護者のニーズを確認しながらも、動画配信等、ICTの有効な活用を検討していく。</p> <p>「9 教員は、卒業後の生活に向けての学習、情報提供を十分に行いましたか。」について 保護者評価 (昨年度比) 小:3.1 (-0.5) 中:3.1 (-0.1) 高:3.2 (-0.2)</p> <p>・学級懇談や教育懇談等を活用し、進路についての話し合いの場を設けるほか、事業所等の見学についても積極的に働き掛けるようにする。 ・教育懇談のほかに進路相談の時間が確保できるか検討する。</p>
2	児童生徒は、人とかかわりを受け入れたり、人とかかわろうとしたりしますか。	7	23%	22	73%	1	3%	0	0%	3.2	
3	児童生徒は、自分から仕事やお手伝いをするように育っていますか。	4	13%	21	70%	5	17%	0	0%	3.0	
4	教員は、児童生徒への言葉掛け、接し方が適切ですか。	4	13%	21	70%	5	17%	0	0%	3.0	
5	教員は、児童生徒一人一人に応じた指導・支援を行いましたか。	5	17%	19	63%	6	20%	0	0%	3.0	
6	教員は、児童生徒にとって分かりやすく学びやすい学級づくりに取り組みましたか。	4	13%	25	83%	1	3%	0	0%	3.1	
7	教員は、児童生徒の生活習慣や健康管理についての相談に丁寧に対応しましたか。	8	27%	20	67%	2	7%	0	0%	3.2	
8	教員は、学習状況についての情報提供を十分に行いましたか。	5	17%	18	60%	7	23%	0	0%	2.9	
9	教員は、卒業後の生活に向けての学習、情報提供を十分に行いましたか。	6	20%	20	67%	4	13%	0	0%	3.1	
10	笑顔あふれる元気な学校になっていますか。	5	17%	25	83%	0	0%	0	0%	3.2	
11	明るく安全な学校になっていますか。	4	13%	25	83%	1	3%	0	0%	3.1	
12	明るく信頼できる教師集団だと思いますか。	8	27%	21	70%	1	3%	0	0%	3.2	

II 経営の方針・重点（教員のみ）

評価項目	4				3				2				1				評価平均	改善策等（自己評価後、学部等で検討）※ 重点項目								
	大変良い		良い		不十分		かなり不十分																			
1 大学・校長等の経営方針に基づき、教育課程全体を通して、子どもに生きる力を育むことができましたか。																		<p>「1(1)カリキュラム・マネジメントを踏まえた教育課程の編成に努めましたか。」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成時はカリキュラムマネジメントに努めたが、日々の実践で生かすことの困難さを感じた。カリマネと実践との関連をより明確にし、指導するようにしていく。 ・全校で取り組む活動と学部単位で取り組む活動を明確にする。 <p>「2(1)個別の指導計画等の活用と確実な引継ぎによる一人一人の実態に応じた適切な指導ができましたか。」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下位学部の授業を参観できるシステムを構築する。 ・学部間の連携強化として情報を共有する場を構築する。 ・中・高の一般入学生に対して、学びの履歴に関する引継ぎが円滑に行われる方策を検討する。 <p>「2(2)もてる力を引き出し、社会的自立を目指したキャリア教育の推進ができましたか。」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアについて、再確認する場を設定する（キャリア≠進路指導）。 ・全職員が同じ歩調で指導・支援できるように、常に「キャリア教育全体計画」に立ち戻るようにする。 ・集団的な力が系特的に身に付けられる方策を探る。 ・進路体験の場を設ける（中3）。 <p>「4(3)「交流及び共同学習」の充実、かかわりや絆を広げる、深める活動の継続を行うことができましたか。」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・附属学校園全体に対して、インクルーシブ教育についての目的やねらいを再検討するように推進していく。 ・オンライン等での交流も積極的に導入していく。 ・地域の方への情報発信も兼ねて、バザーでの販売場所等を検討する。 <p>「5(2)業務改善（意識改革と業務量削減）の推進と担任・分掌部業務のさらなる見直しを行うことができましたか。」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分掌部の業務内容を基に具体的な削減内容を示していく。 ・主担・副担制や全員が分掌部に所属することについての成果と課題を明確化する。 ・連絡帳等のレイアウトについて検討する。 								
(1)カリキュラム・マネジメントを踏まえた教育課程の編成に努めましたか。	1	3%	23	77%	6	20%	0	0%	2.8																	
(2)教職員の協働に基づく学校経営・教育実践の推進ができましたか。	5	17%	24	80%	1	3%	0	0%	3.1																	
(3)安全・安心な教育環境の下で教育活動を実施することができましたか。（いじめ撲滅、体罰の禁止、危機管理への対応）	6	20%	20	67%	4	13%	0	0%	3.1																	
2 12年間をつなぐ、切れ目ない一貫教育の推進（指導内容・方法の継続性の重視）を図ることができましたか。																										
(1)個別の指導計画等の活用と確実な引継ぎによる一人一人の実態に応じた適切な指導ができましたか。	1	3%	19	63%	10	33%	0	0%	2.7																	
(2)もてる力を引き出し、社会的自立を目指したキャリア教育の推進ができましたか。	0	0%	20	67%	10	33%	0	0%	2.7																	
(3)新学習指導要領を踏まえた学習指導の改善を行いましたか。	4	13%	23	77%	3	10%	0	0%	3.0																	
3 教員の専門性（実践的指導力、教育研究）の向上とセンター的機能の発揮を図ることができましたか。																										
(1)確かな児童生徒理解に基づく学級・学部運営ができましたか。	3	10%	25	83%	2	7%	0	0%	3.0																	
(2)学校研究の充実と外部への提供・発信を行うことができましたか。	4	13%	24	80%	2	7%	0	0%	3.1																	
(3)OJTの推進と大学教員との積極的な連携を図ることができましたか。	0	0%	26	87%	4	13%	0	0%	2.9																	
4 家庭、地域、大学、四附属学校園、関係機関との連携の充実を図ることができましたか。																										
(1)信頼関係に基づく連携と活動の充実を図ることができましたか。（PTA、放課後等デイサービス、就労関係機関等）	3	10%	26	87%	1	3%	0	0%	3.1																	
(2)教育実習、介護等体験等へ適切に対応することができましたか。（今年度は介護等体験の受け入れはなし）	6	20%	23	77%	1	3%	0	0%	3.2																	
(3)「交流及び共同学習」の充実、かかわりや絆を広げる、深める活動の継続を行うことができましたか。	2	7%	21	70%	7	23%	0	0%	2.8																	
(4)学校公開やHPの活用などの情報の発信に寄与することができましたか。	3	10%	21	70%	6	20%	0	0%	2.9																	
5 附属学校の教育課題への対応と働き方改革への一層の取組みを図ることができましたか。																										
(1)附属学校のあり方や役割について課題意識を持って学校経営に参画することができましたか。	0	0%	29	97%	1	3%	0	0%	3.0																	
(2)業務改善（意識改革と業務量削減）の推進と担任・分掌部業務のさらなる見直しを行うことができましたか。	2	7%	18	60%	10	33%	0	0%	2.7																	

Ⅲ 基本姿勢とマネジメント（教員みの項目）

	評価項目	4		3		2		1		評価平均	改善策等（自己評価後、学部等で検討）
		大変良い		良い		不十分		かなり不十分			
1	慣例的なことやこれまでのやり方にとらわれず、常に創造的な取組を行うように心がけている。	4	13%	25	83%	1	3%	0	0%	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革の趣旨を全体で共有しながら、業務削減にあたる。 令和5年度実施予定である附属学校園全体でのコミュニティ・スクール化に向けて、本校における地域貢献の在り方を推し進めていく。
2	課題意識を持って仕事に取り組み、その解決を図っている。	5	17%	24	80%	1	3%	0	0%	3.1	
3	仕事の効率化を図りながら、日々の業務に取り組んでいる。	5	17%	22	73%	3	10%	0	0%	3.1	
4	困ったことや慣れない仕事などは、周りの人に相談しながら仕事を進めている。	9	30%	21	70%	0	0%	0	0%	3.3	
5	仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の実現に向け努力している。	7	23%	21	70%	2	7%	0	0%	3.2	
6	今年度の学校経営グランドデザインに示す学校経営の柱や方向性をふまえ、目標達成に向けた取り組みを行ってきましたか。	3	10%	25	83%	2	7%	0	0%	3.0	
7	今年度の学校経営グランドデザインが目指す学校改革の内容を理解し、学校・学部・学級経営に努めましたか。	3	10%	24	80%	3	10%	0	0%	3.0	
8	今年度の学校経営グランドデザインが目指す地域貢献の内容を理解し、学校・学部・学級経営に努めましたか。	3	10%	22	73%	5	17%	0	0%	2.9	